

(学年) 第3学年, (教科・科目) 福祉・生活支援技術

協働学習

(単元) 居住環境の整備

(本時のねらい)

生活スタイルが多様化・複雑化している中, 利用者の安全で安楽な生活の場を提供すること, 一人ひとりに合わせた支援方法を工夫し実践できる力を育成することが重要であると考えている。その中で, 利用者の方一人ひとりによって, 抱える問題は異なることを理解し, 利用者の尊厳を尊重しながら, 根拠に基づいて居住環境の整備を工夫することができるように設定した。

(ICT活用方法)

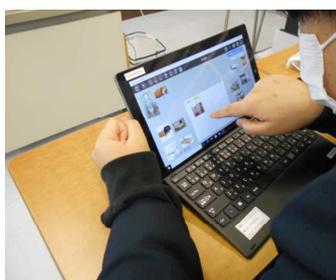
根拠に基づいた居住環境を整備するために, 授業支援クラウドアプリを用いて高齢者の視点に立ち, 自分がコーディネートするならこんな住居に住んでみたいと思う理想の住居を考える。従来は, 最適な福祉用具などを説明するために, 視覚的教材を電子黒板を用いて提示していたが, 一人一台端末で事前に集めた福祉用具を自由に移動させながら居住環境を根拠に基づいて完成させることができた。一人ひとりが目的や作業をする時間を設けることで主体的に学習に取り組むことができた。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	・本時の学習内容 と目標を知る。	・本時の学習内容と目 標を授業支援クラウ ドアプリ上に提示す る。	・電子黒板に本時の内容と目標を 提示する。
展開 40分	・移動形態(自力 歩行・介助歩行 ・車いす)の学 習について確認 する。 ・高齢者の視点に 立ち, 自分がコ ーディネイトす るなら, 自分な らこんな住居に 住んでみたいと 思う理想の住居 を考える。	・前時にまとめた生徒 の意見を授業支援ク ラウドアプリ上に提 示する。 ・移動形態やニーズに よって建築的配慮が 異なることに気づか せる。	・前時にまとめた生徒の意見を授 業支援クラウドアプリ上に提示 する。 ・利用者の方一人ひとりによって, 抱える問題は異なることを理解 し, 利用者の尊厳を尊重しなが ら, 根拠に基づいて居住環境の 整備を工夫する。自由に授業支 援クラウドアプリで配布した教 材を移動させ, 自分なりのコ ーディネイトを完成させる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・他の人が考えた住居について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員の授業支援クラウドアプリを提示し、何人かの生徒を指名する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板に発表者の画面を提示する。発表時には、なぜその福祉用具にしたのかを根拠を添えて発表を行う。
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りとともに、居住環境には安心と危険が隣り合わせで存在することを伝え、まとめとする。 	

(授業の様子)



生徒の様子



投影方法



授業支援クラウドアプリ
ワークシート

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

一人ひとりの作業では、時間内集中して取り組むことができた。また、自由に付箋が貼れることで根拠としての自分の考えを書き留めておくことができた。視覚的教材を自由に移動させることができることで、少ない作業時間でも発想を展開させることができた。今後の課題としては、福祉用具の選定から生徒が行うことでより根拠に基づいた用具を選ぶことができるのではないかと考えた。